

感謝の水

聖心女子学院初等科

四年ゆり組 三浦 美心

「冷たくておいしいね。」

父が買ってきた電動かき氷機で作るかき氷が、私は大好きです。ふわふわでひんやりとしたこの氷は自宅の水道水から出来ています。夏休み中だけでも私はたくさん水を日々使っていることに気が付きました。朝起きたらへチマに水やりをして、洗顔して歯みがきをします。寝ぐせも水で整え、のどがかわいたら水を飲みます。出かけて汗をかいたら、帰宅してすぐシャワーをあびます。汚れた服は母が毎日洗濯してくれて、料理や食器洗いにも水をたくさん使っています。

インターネットで調べてみると、日本人は平均して一日に約二百八十九リットルの水を使っているそうです。ニリットルのペットボトルを一本持っただけでも、私には重く感じるので、この量にはおどろきました。

そんなきれいな水が飲めない国の動画を学校の社会の時間に観ました。女の子が朝、泥水で顔を洗い、歩いて遠くの学校へ通っていました。学校へ行けず、毎日湖や川へ水をくみに行っている子ども達がいるという話も聞きました。きっと、その子達が使っている水の量は私達の半分すらないでしょう。私達はそんなことも考えずに毎日好きなだけ水を使っているのです。

私には発展途上国できれいな水が飲めない国があることは知っていたけれど、世界のごく一部の貧しい人だけだと思っていた。ところが調べてみると水道水を直接飲める国は世界でたった九カ国しかなく、アジアでは日本だけだということを知り、信じられない気持ちになりました。私が思っていた「当たり前」は、世界からしたら「ありがたい」ことだったのです。

毎年、夏は学校でプールの授業があります。私は水泳があまり得意ではありません。一生

けん命泳いでも、周りの友だちより遅れてしまうので、少し悲しい気持ちになることもあります。でも、今度の水泳の時間、プールに張ったキラキラとした水を見た時には、心から感謝しようと思います。きれいな水の中で水泳できるといことが、とても恵まれた環境だということに気がついたからです。

先日、家族で出かけた先でDS (Tokyo water Drinking Station) という東京水を給水できるボトルディスプレイスパー式の水飲栓を見つけまし

た。そこで、東京スマイルボトルプロジェクトという東京水をマイボトルに入れて持ち歩くプロジェクトがあったことも知りました。プラスチックボトル飲料を買わないことでプラスチックゴミを減らすことにもつながります。DSは都内に九百カ所も設置されているそうです。安全でおいしい水を公共の場に無料で提供していることは日本が世界に誇れることだと思います。私はこの東京都水道局のすばらしい水質管理の技術を世界に広めたいと強

く感じています。おいしい東京水は日本の誇りです。

私は、このように美しい水が気軽に手に入る日本に生まれてきたことに感謝の気持ちでいっぱいです。そして、安全でおいしい水道水を管理して下さっている水道局など、多くの方々に心から「ありがとう」と伝えたいです。大きな感謝をこめて。